

とこなめ陶の森 資料館 企画展

マルヘニなやきもの

Cookie jar

クッキー
ジャー展



とこなめ陶の森 資料館



メルヘンなやきもの「クッキージャー」



常滑でつくられたクッキージャー

日本が海外へ輸出した貿易陶器の一つにクッキージャーがあります。クッキージャーは、家庭でつくられたクッキーを保管しておくための容器です。素材はやきもののほか、ガラス、木、金属のものもあります。陶製のもの、常滑や瀬戸などで大量に生産されてきました。残念ながら常滑におけるクッキージャーの生産は、昭和時代末期に途絶えてしまいました。しかし、当時の貿易陶器を販売するお店や昭和のアンティークの置物としてみかけることができます。



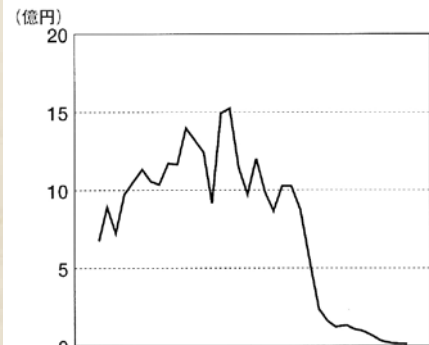
クッキージャーの生産



全国統計を調べると、戦後の輸出陶器の生産は1947年から始まります。初期の輸出陶器は食器や置物が中心で、主な輸出先は米国市場で、全体の5割を占めていました。クッキージャーの生産が始まった1960年代の常滑では、台所や食卓用品、玩具、置物などが輸出されており、クッキージャーは食卓用品に含まれると考えられます。常滑の貿易陶器は、栗色に釉掛けされたロックンガムウェアと呼ばれる食器や置物、白素地に絵付けを施した動物の置物、土器のような風合いのあるフラワーポットなどがあり、米国の流行に合わせて様々なものが生産されました。

1960年代後半になると、貿易陶器の生産量、生産額ともに順調に伸びていきます。しかし、1973年に為替制度が変動相場制へ移行し、円高が進みました。さらに、米国は追い打ちをかけるかたちで、日本製食卓陶磁器製品に関税率の90%を上乗せする関税引き上げを強行しました。また、米国向けの輸出陶器をスペイン、ブラジル、ニュージーランドなどが手掛けるようになりました。そこで、日本の製陶所は多くのライバル国に対抗するため、短い納期で大量生産をおこなうことで、低価格の商品を提供しました。しかし、1980年代後半に入ると、中国、韓国、台湾などの追い上げが始まり、輸出陶器を手掛けた多くの製陶所が経営を断念することになりました。

常滑でクッキージャーの生産を手掛けた製陶所は、丸五製陶所をはじめ、彩光製陶所、八木星陶、鴻陽陶園などが挙げられます。彩光製陶所は、1960年代から本格的に生産を開始し、1970年代後半に全盛期を迎えました。クッキージャーは、ウォルマートやKマートといったスーパーマーケットからの注文がありました。バイヤーが、毎年春と秋、常滑の製陶所を訪れて商談をし



常滑の輸出陶器出荷額 『常滑の陶業百年』2000より

ていきました。各製陶所は、事前に伝えられていたイメージをもとにクッキージャーの試作品^{しさくひん}を準備しました。現存するクッキージャーは、既存^{きぜん}の伝統的なもの、人形や動物、家をモチーフとしたもの、ハロウィンやクリスマスといった季節感のあるものなど多岐^{たき}にわたります。動物や食べ物の形をしたクッキージャーは特に人気がありました。

商談が成立すると、製陶所のかかえる原型師^{げんけいし}が石膏型を使って素地^{すじ}をつくります。その素地に下地の白や茶色の釉薬^{うりやく}をかけ、トンネル窯で焼成しました。動物のクッキージャーには、眼^めや爪^{つめ}などの細かな部分があり、塗料^{とりょう}やシールなどを使って仕上げられました。彩光製陶所では、毎年6種類ほどのレパートリーを用意し、年間で約5万点の生産量がありました。完成したクッキージャーは、船で米国へ出荷されるため、製陶所で箱に梱包^{こんぱう}され、名古屋港までトラックで運ばれました。



クッキージャーの裏面



クッキージャーの紙箱

🌀 米国で愛されたクッキージャー 🌀

クッキージャーは、日本で大量生産され始めた1960年代以降、アメリカのどの家庭にも一つは必ずあるやさしきものでした。現代の子ども達が見ても、すぐにクッキージャーだとわかります。その理由は、今もアメリカではティータイムや家族のだんらん、知人^{ちじん}が集まる時にお菓子を食べる習慣があるからです。スーパーマーケットや商店が少なかった頃は、家庭のオーブンでつくる焼き菓子「ホームベーキング」が一般的でした。母や祖母^{そぼ}がつくるクッキーには、チョコチップクッキー、ピーナッツバタークッキー、セサミクッキー、モンスタークッキーなどがありました。自家製のクッキーは保存料^{ほぞんりょう}がはいっていないため、一時的にクッキージャーに保管されます。クッキーを食べるときは、人が大勢いる場所へクッキージャーを運ぶ事はなく、クッキーを取り出してお皿^おに盛りつけられました。そのため、地味^{じみ}で目立つものではなかったようです。しかし、家族との思い出として、多くの子ども達の記憶に残るやさしきものになっています。今もクッキージャーは、遊園地^{ゆうえんち}のお土産^{みやげ}やアンティークのコレクターアイテムとして人気があります。

(とこなめ陶の森 小栗康寛)



(1) ワシントンの壺
高さ 26cm
口径 16cm



(2) ワシントンの壺
高さ 25.5cm
口径 16cm

初代
アメリカの
大統領の
顔だよ



(3) 筒形
高さ 22cm
口径 15.8cm



(4) 筒形
高さ 16.7cm
口径 17.5cm



(5) ケトル形
高さ 23cm
口径 16cm



(6) ケトル形
高さ 23cm
口径 16.3cm

「ケトル」は
「なべ」とか
「やかん」という
意味だよ



(7) 筒形
高さ 24.5cm
口径 16.2cm



(8) 筒形
高さ 17.3cm
口径 16.5cm

これは何か
わかるかな？
実は昔の
ストーブなんだ！



(9) ストーブ
高さ 26cm
口径 15cm



(10) ストーブ
高さ 27.5cm
口径 13.5cm

コーヒー豆を
粉にする
道具だよ



(11) コーヒーミル
高さ 24.5cm
口径 15.7cm



(12) ベル
高さ 23.5cm
口径 13.7cm

木目の表現が
とても
キレイだね!



(13) 木筒形
高さ 23.5cm
口径 12.4cm



(14) ボックス
高さ 19cm
口径 11.5cm



(15) ストープ
高さ 30cm
口径 17.8cm



遊園地の
メリーゴーランド
だよ!

(16) 回転木馬
高さ 24cm
口径 15.4cm



(17) フクロウの巣
高さ 22cm
口径 18cm



(18) こびとの家
高さ 24cm
口径 16.2cm

こびとさんが
フタのつまみに
なってるよ





(19)
果樹とこども
高さ 19.5cm
口径 14cm



「ノアのコブネ」
って知ってる？



(20) ノアの方舟
高さ 22.5cm
口径 26cm



(21) ポリスベア
高さ 22cm
口径 11.5cm



(22) 紳士ネコ
高さ 25.5cm
口径 13cm



(23)
クッキーパンダ
高さ 30.2cm
口径 10cm

ボクらは帽子が
フタになって
いるんだよ



(24)
クッキー
ライオン
高さ 31cm
口径 10cm



(25) フクロウ
高さ 22.8cm
口径 17cm



(26) ミミズク
高さ 19cm
口径 14cm



(27) サーカスのゾウ
高さ 26cm
口径 14.5cm



(28) コックの
プタ
高さ 25cm
口径 14cm

クッキーを
食べすぎると
タイヘンなことにな
っちゃうよ



(29) 少年騎士
高さ 22.5cm
口径 18.5cm



(30) クッキー
ドロボウ
高さ 23.2cm
口径 11cm



東アルプスの
民族衣装だよ

(31) チロル帽の男
高さ 24.8cm
口径 13cm



(32) 神父
高さ 26cm
口径 11cm



もしかして
兄弟かな?



(33) 樽男
高さ 27cm
口径 13cm



(34) 樽男
高さ 28cm
口径 13.5cm



瀬戸の
加藤工芸で
つくられた
ピエロだよ

(35) クッキー
クラウン
高さ 24cm
口径 12.8cm



(36) クッキー
クラウン
高さ 28cm
口径 13cm



(37) 少女の家
高さ 24.8cm
口径 15.8cm



(38) 少女の家
高さ 24.5cm
口径 16.5cm



(39) ベーカリー
ハウス
高さ 18.5cm
口径 17.2cm



(40) 水車小屋
高さ 23cm
口径 15cm



(41) クッキー
ハウス
高さ 24cm
口径 15cm



(42) クッキー
ハウス
高さ 26.8cm
口径 15.5cm

クッキー屋
さんが
たくさん
あるね





色のぬり方が
違うだけで
同じ形のクッキー
ジャーなんだよ

(43) クッキー
ハウス
高さ 24cm
口径 11cm



(44) クッキー
ハウス
高さ 22.5cm
口径 11cm

(45) クッキーハウス
高さ 21.3cm
口径 9.8cm



こっちは
お菓子の
おうちだね

(46) クッキーハウス
高さ 20.5cm
口径 9.8cm



釉薬で
雪が積もった
ところを表現
しているよ



(47) チムニー
ハウス
高さ 24.5cm
口径 13.5cm



チムニーは
えんとつ
煙突という
意味だよ!

(48) チムニー
ハウス
高さ 24.5cm
口径 14cm



とこなめ陶の森 資料館
2022.12.17(土) - 2023.3.12(日)